



2023年12月20日

各 位



会社名 J C R ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員管理本部長 本多 裕
(TEL 0797-32-1995)

武田薬品との遺伝子治療に関する共同研究開発の終了について

当社は、武田薬品工業株式会社（以下、武田薬品）と実施していた J-Brain Cargo® 適用のアデノ随伴ウイルス（AAV）を用いた遺伝子治療に関する共同研究開発（以下、本共同研究）を、両社合意のもと終了しましたことをお知らせいたします。

当社と武田薬品は、2022年3月28日に締結したライセンス契約に伴い、ライソゾーム病を対象として、当社独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した AAV 遺伝子治療に関する本共同研究を開始いたしました。2023年3月には病態モデルマウスの脳内における投薬の効果が確認され、当該契約におけるマイルストーンである非臨床 PoC を達成し、当社はマイルストーンフィーを得ています。

今回の終了は、武田薬品が以前より発表していた AAV 遺伝子治療の研究中止という全面的な研究開発戦略の変更によるものです。本件に係るライセンス契約の解消に伴い、これまでに得られた成果・特許等は当社に移管されました。当該契約が解消されたことから、当社は、J-Brain Cargo® 技術の遺伝子治療への適用について、独自の研究開発を継続し、かつ他社と提携することも可能となります。

当社の代表取締役会長兼社長 芦田 信は次のように述べています。

「本共同研究を通じて、当社独自のプラットフォーム技術 J-Brain Cargo® を適用した遺伝子治療のコンセプトを実証することができました。これまでの武田薬品の協同に感謝し、R&D 方針の変更に基づく武田薬品の決定を理解し尊重いたします。当社は引き続き、他社との提携やライソゾーム病以外の神経変性疾患への展開を視野に入れながら、遺伝子治療領域の自社研究開発を進展させてまいります。」

なお、本件に関する今期（2024年3月期）の当社連結業績への影響は軽微であります。

以 上